

電子科便り ～高校生ものづくりコンテスト電子回路組立～

本校のホームページをご覧くださいありがとうございます。今回の投稿は2月に開催されました高校生ものづくりコンテスト電子回路組立部門島根県大会の報告です。

2月11日に出雲工業高校で令和4年度高校生ものづくりコンテスト電子回路組立部門島根県大会が行われました。この大会は制限時間内(2時間30分)に電子回路を製作し、製作に必要な技術(回路設計、はんだ付け、プログラミングなど)をそれぞれ点数化して技術を競う工業高校ならではのものづくりの大会です。上位入賞者は中国大会や全国大会に行くことができます。

松江工業高校からは電子科2年の小倉成貴くん(松徳学院中出身)、電子科1年の吉岡大騎くん(湖北中出身)の2名が参加しました。

(大会の様子)



作業スペースの様子



集中しています(がんばれ)



説明を聴いています(集中!)



競技が始まりました



回路設計(方眼紙に書きます)



回路設計(綺麗に書いてます)



はんだ付け(速さと正確さが勝負)



はんだ付け(しっかり作ります)



プログラミング(発想力が鍵です)

結果、吉岡君が全体の2位、小倉君が3位に入り、2名とも上位入賞することができました。なお1位は出雲工業高校の生徒が獲得しました。2位の吉岡君は来年度、広島県で行われる中国大会への出場権を得ることができました。

(表彰の様子)



2位の表彰（おめでとう！）



3位の表彰（頑張りました！）



後日、改めて表彰しました。

2人とも初めての大会で緊張している様子が見られましたが、いざ競技が始まると集中して取り組み、普段練習している力は発揮できたのではないかと思います。1位と2位の点数もそれほど離れていない結果となり今後に繋がる大会となりました。

○電子科便り担当より

いつも電子科便りをご覧いただきありがとうございます。実は電子科便り担当は、今回のものづくりコンテストの指導もしています。今回この大会では上位入賞を目標に頑張ってきました。優勝は逃しましたが、上位入賞することができたのは良かったですし、今後に繋がる良い結果となりました。2名とも他の部活を掛け持ちしながら、ものづくり部として活動してくれました。当初は何から取り組めばいいかわからないといった様子だったのが、日に日に成長する姿を見ると、何事にも一生懸命取り組む大切さを改めて感じることができました。この知識を他の場面で活かして欲しい所です。